

## 三ツ池公園のアメリカザリガニ防除の取り組み

三ツ池公園 水辺クラブ 天野隆雄

### 1 はじめに

三ツ池公園の外来生物防除活動は、2006年7月15日に発足しました。

池の中に無数のブルーギルが生息し、このままでは在来水生生物が絶滅してしまうのではないかと危惧したからです。その後、モンドリ捕獲やギル釣りを実施しましたが、防除の効果が表れない為、このままでは活動を行ったけれども間に合わなかったという失敗を防ぎたいということで、一年半後08年2月に「上の池」のかいぼりを実施しました。目的は、在来生物の聖域を作りたいと考えたからです。

ノーバスネットに参加し、皆様のご協力をいただいたことも大きな支えになりました。

### 2 かいぼり報告（アメザリが急繁殖）

08年2月のかいぼりの際は、オオクチバス約250匹、ブルーギル約2,500匹その他外来種のコイなどを捕獲処分しました。これで一安心したのですが半年後から池の中にアメザリが多数発生したことが判明しました。

かいぼりをした後に捕食者を排除したことでアメザリが急繁殖することは知識として承知していましたが、バス・ギルを排除することを優先したものです。



### 3 アメザリ釣り活動（かいぼり後約11年間）

08年秋からアメザリ活動を始めましたが、正式には09年4月からとなります。

その後10年間のアメザリ釣りで、参加者は約25,000名、捕獲したアメザリは約117,000匹となりました。



#### 4 生息調査

17年7月から、年間を通じ毎月10日「上の池」でアメザリの生息調査を開始しました。まだ始まったばかりでデータの蓄積中ですが、9月からアナゴカゴ6張と連続捕獲器の導入により、今後ビッグデータが得られると考えています。

その成果などは、アメザリネットを通じ皆様に提供します。

9月の時点での月間捕獲数は1,987匹となり、アメザリ釣りより捕獲数が多くなっています。3日おきに約180匹捕獲されています。



#### 5 連続捕獲装置の設置

17年9月18日導入し、順調に捕獲成果を上げつつあります。

あまり手間をかけずに多くのアメザリを捕獲出来る為、今後期待しています。

慣れてくると取り扱いは容易で、何よりの利点は一度入ったアメザリが脱出されずにそのまま装置内に留まるということです。



#### 6 園芸スイレンの繁殖と今後の活動

「上の池」では園芸スイレンが（環境省生態系被害防止外来種リストの重点対策外来種指定）池の水面の半分以上を覆っています。毎年葉や茎が枯れる為、常に池の水質が悪く3つの池の中で一番黒く濁って、悪臭を放っている状態です。

溶存酸素濃度値は水面と水底では半分以下となっています。

この対策として今年の冬から約4年計画で遮光シートを使用してスイレンを駆除する計画を立て、指定管理者と学識経験者と水辺クラブと3者協議してゆきます。